

外国人

| NO | タイトル | 時間 | ビデオ媒体 | 字幕等 | 所管 |
|----|--|-----|-------|-----|-------|
| 1 | 日本列島と朝鮮半島 | 31分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1984年作品) 日本は昔から文化、政治、技術等の発展に朝鮮半島の強い影響を受けてきた。不幸な出来事は数回あったが友好の歴史は長い。この歴史を顧みながら、基本的人権が尊重される国際社会を築きあげる必要性を訴えます。 | | | | |
| 2 | サラムという名の隣人 | 38分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1991年作品) 私の名前は、チョチヒュと言います。案内役として在日3世の大学生が現実の問題を追って行く。在日コリアンの問題をトータルにとらえたビデオです。 | | | | |
| 3 | 大阪と朝鮮人強制連行 | 40分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1990年作品) 1990年11月に大阪府強制連行真相調査団が結成され、それから約1年間で強制連行現場が次々に明らかにされました。全く知られていなかった大阪の強制連行の歴史が今、映像に。 | | | | |
| 4 | 故郷をつくる街 | 45分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1994年作品) このビデオは、川崎市に住む在日韓国人の一世・二世が、自分たちの民族性を自覚し、生まれ育った川崎の地域を故郷として認めていく過程を扱い、それが人間の自己実現、自己表現の基礎であることを訴えています。登場する一人ひとは、悩み、揺らめきながら一步步歩んでいるが、その姿には、感銘深いものがあります。人間と民族を考える格好の作品です。 | | | | |
| 5 | コリアン文化にふれるープチュチュム扇の舞編ー | 23分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1994年作品) プチュチュムはその華やかさで人気のある舞踏の一つです。今回はソロの踊りを中心に、基礎から解説しています。この1本で十分に1曲をマスターすることができます。また、ソロの踊りを応用した形で群舞も紹介。プチュでつくる美しい波や花のテクニックも解説しています。そして、何よりも「グループ黎明」のメンバーが舞う可憐なプチュチュムは見る人に感動を与えます | | | | |

| | | | | | |
|----|---|-----|-----|---|-------|
| 6 | コリアン文化にふれるーチャンゴ基本編ー | 21分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1994年作品) 子どもたちにも人気の高い楽器、チャンゴ。韓国でも注目されている関栄治(グループ黎明)の実演で解説しています。チャンゴの説明、置き方、ヨルチュ、クングルチュの持ち方から、チャンダンと呼ばれる基本的なリズムまで紹介。しかも素晴らしい演奏も楽しめるように構成されています。子どもたちにチャンゴにふれてみたい、叩いてみたいと思わせる作品です。 | | | | |
| 7 | コリアン文化にふれるーサムルノリ編ー | 25分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1994年作品) サムルノリとはチャンゴ、ケンゲアリ、チン、プクの四つの打楽器で演奏する音楽のことです。四つの打楽器が生み出す、そのリズムは人々を魅了します。このビデオでは、ケンゲアリ、チンプリの基本と朝鮮の伝統的なリズムであるチャンダンを通して、サムルノリの色々な技術を学ぶことができます。チャンゴに他の打楽器が加わることの面白さ、楽しさ、そして何よりも韓国・朝鮮の音楽の素晴らしさを伝える作品です。 | | | | |
| 8 | コリアン文化にふれるー遊び編ー | 21分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1994年作品) 古くから朝鮮半島に伝わる代表的な遊び、ユンノリ、チャンギ、ペンイを楽しく紹介するビデオです。ユンノリは、ユツと呼ばれる4本の棒がサイコロの役割をする、スゴロクに少し似た遊び。知恵を働かせれば、大逆転も可能なワクワクする遊びです。チャンギは将棋のこと。でも日本の将棋とルールが違い、別の面白さがきつと発見できます。ペンイとは、コマのことで、打ち棒で叩いて回します。朝鮮半島の遊びを通じて、コリアン文化にぜひ触れてみてください。 | | | | |
| 9 | 日韓併合への道 | 30分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1993年作品) 明治維新は、日本にとって近代化への歩みであると同時にアジア侵略の道程でした。江華島事件から3・1万歳運動までの朝鮮半島での歴史的事実を描いている迫真のドキュメント。平和教育には必須の教材です。 | | | | |
| 10 | 朝鮮半島ー植民地支配の実態 | 28分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1993年作品) 日本の朝鮮植民地支配は強制連行などの労働力の収奪のみならず、創氏改名などにより、民族の誇りさえも奪いました。数々の証言をもとに、その歴史的事実の検証と共に、在日韓国、朝鮮人への偏見と差別の根源に迫ります。 | | | | |
| 11 | 在日の戦後補償ー鄭商根さんの場合ー | 25分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1993年作品) 戦争中、同じ日本人として戦いながら戦後「戦傷病者戦没者遺族等援護法」から完全に排除されてきた、在日韓国・朝鮮人ー。その象徴である鄭商根さんの姿を通して、今も続く民族差別の実態と本質に迫ります。 | | | | |

| | | | | | |
|----|---|-----|------------|---|-------|
| 12 | 残された名刺ーある在日一世の軌跡(アニメ) | 30分 | VHS DVD | — | 人権啓発課 |
| | 「世の栄光を求めたわけではありません。人間として尊厳を侵されることなく静かに暮らしたかっただけです。」という在日一世の苦難の道。その背景に日本と朝鮮の近代史が重なります。日本人にとっても生きにくかった時代を振り返り、日本のよりよい未来をともに語り合しましょう。 | | | | |
| 13 | いちばん近くに(アニメ) | 22分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1996年作品) 小学校を舞台に、在日韓国・朝鮮人と日本人との出会いをテーマに異なる文化や習慣を尊重し、共生する社会を作ることの大切さを学びます。 | | | | |
| 14 | 在日コリアンの肖像 | 45分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | (1998年作品) 共生の時代といわれて久しい。しかし、在日コリアンの場合、本名で生きることさえ、まだまだ容易でないのが現状です。その中で、1991年、本名で生きることを決意した家族の7年の足跡を追います。 | | | | |
| 15 | シリーズ 在日外国人問題の原点を考える 1ー歴史編 | 30分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | ハルモニたちは踊る～在日コリアン一世が歩んだ道～(2002年作品) 一世のハルモニ(おばあちゃん)たちの介護を仕事としている在日コリアン二世の徐玉子(ソ・オクチャ)さん。日本の朝鮮植民地支配のため、意に反して日本で暮らさざるを得なくなった在日コリアンの歴史を、日本人に正しく知ってもらうことが共生の第一歩と考え、徐玉子さんはハルモニたちの人生を記録に残すことを始めました。 | | | | |
| 16 | シリーズ 在日外国人問題の原点を考える 2ー現状編 | 30分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| | オモニの想い～在日コリアンの戦後、そして今～(2002年作品) 在日コリアン二世の申点粉(シン・チョブン)さんは、高校生と大学生の二人の子どものオモニ(おかあさん)。戦後、一方的に日本国籍を剥奪された在日コリアンは、長い間国籍の違いによる差別に苦しんできた。三世・四世の若者たちが差別されない日本社会を願って、申点粉さんはオモニとしての想いを語ります。 | | | | |

| | | | | | |
|----|--|-----|-----|----|-------|
| | シリーズ 在日外国人問題の原点を考える 3－展望編 | 30分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| 17 | <p>出会い～在日コリアン三世と日本の若者たち～(2002年作品)</p> <p>鄭亜美(チョン・アミ)さんは、20歳、東京の大学で学ぶ在日コリアン三世。ほとんどの日本の若者が在日コリアンに関心がないという現状から、鄭亜美さんは日本の若者と出会い、その「出会い」の中から、お互いのルーツを見つめ合い、真に共生できる未来を今、模索し始めています。</p> | | | | |
| | この街で暮らしたい —外国人の人権を考える— | 32分 | VHS | 字幕 | 人権啓発課 |
| 18 | <p>(2002年作品)</p> <p>近年、様々な国からやってきた外国人が私たちの町で暮らすようになりました。しかし、言葉や宗教、文化や価値観などの違いから、様々な人権問題が生まれています。今後、ますます国際化が進む中で、日本人と外国人がお互いを認めあって、共に生きていくことができる社会を築いていくことが求められています。この作品では入居拒否の例をもとに外国人の人権について考えます。(企画:法務省人権擁護局、人権教育啓発推進センター)</p> | | | | |
| | 地球は友だちだ —外国人とのつきあい方—(アニメ) | 15分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| 19 | <p>〈豊かな国〉ニッポンで、働き、学ぼうと、世界中の国から多くの人が集まってくる。でも、かれら外国人とニッポンのあいだには、何かが一目に見えない何かが、たちはだかっている。私たちの国はかれらをどう迎え、かれらとどのようにつきあえばいいのだろうか。本作品は親しみやすいアニメに、各種統計グラフなどの資料をおりこみ、新たな隣人となった外国の人たちとどのようにつきあえばよいのかを、わかりやすく説明しています。日本の国際化を考えるために好適の映像教材となっています。</p> | | | | |
| | いまじん—多民族・多文化共生への道— | 24分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| 20 | <p>在日外国人入門編ビデオ</p> <p>在日外国人について「人権」の視点から学ぶためには、まず現実を知ることから始めなければなりません。このビデオでは、外国人の直面する困難や人権侵害を直接訴えるというよりは、それを乗り越えようとする努力、人権を守り共生社会を築くためのさまざまな取り組みにスポットをあてています。◎街頭インタビュー①「ぱだ(海)大阪他民族共生人権総合福祉センター」②「滋賀ラテン学園」③「すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク(RINK)」④「帰国した子どものセンター校・大阪市立阿倍野中学校」⑤「多文化共生センター〈ことばの会〉」</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|-------------------------------|-----|------------|-----------|-------|
| 21 | 風と大地と梨の木と —第4章 WE ARE ONE— | 51分 | VHS | — | 人権啓発課 |
| <p>「外国人の人権」と「子どもの人権」がテーマ。本作品にはボクシングのWBC世界フライ級チャンピオン徳山昌守氏が特別出演しています。ドラマは、中学2年の同級生、淳と清水俊明はジョギングを通して出会い意気投合する。しかし、清水には隠していることがある。清水は、日本人の父と韓国人の母に生まれるが両親に見放され、韓国籍のまま児童施設で育つ。清水の告白を前に二人の間にぎこちなさが生まれるが、淳は全身で変わらぬ友情をぶつけていく。清水にとって同じ国籍を有し、それを公表しながらボクシングを通して夢に向かっていく《あの人》＝「徳村」は勇者である。めざす高校のボクシング部を覗いた二人に、不意に現れた徳村の「なぜ俺が祖国でないここにいると思う？なぜ君が自分のせいじゃないことで悩む？こんな不幸を生んだのは何か？“WE ARE ONE”我々は今、この為に戦うべきなんだ」と語る言葉が重く響く。</p> | | | | | |
| 22 | 外国人と人権 違いを認め、共に生きる | 33分 | DVD | 字幕 副音声 | 人権啓発課 |
| (2016年) | | | | | |
| <p>このDVDは外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性も含め、人が人を大切に人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。</p> | | | | | |
| 23 | キムの十字架 (アニメ) | 80分 | VHS DVD | — | 人権啓発課 |
| <p>1910年から45年まで日本は朝鮮の隅々に日本軍と警察を配置し、植民地として支配していました。1944年。朝鮮の村で育ったジェハとセファン兄弟は、日本に田畑を奪われ、弟セファンは学校に行けないので、近所の少女ユンスーに勉強の手ほどきを頼み、やがて教会にも通うようになりました。その頃、日本軍は密かに大本営を長野県松代に移す計画を進めており、その労務に多くの朝鮮人を強制的に連れてきました。兄のジェハも突然憲兵に襲われ日本に連れて行かれました。戦争が終わり弟セファンも松代に連れてこられていたことを知ったジェハは必死に探しますが、すでにセファンは死んでいました。ジェハは朝鮮へ帰る仲間と別れ再び壕の中に…。ジェハが刻むノミの音が何日も続きました。今も松代の地下壕の中に輝いている「キムの十字架」です。</p> | | | | | |
| 24 | 名前…それは燃えるいのち(アニメ) | 18分 | VHS DVD | — | 人権啓発課 |
| <p>2006年作品</p> <p>桜が舞い散る新学期。4年3組の新しい担任になったのは、姜明子(カン ミョンジャ)先生でした。名前のことでケンカになったよりかと平吉に姜先生は、「自分の名前を調べて、みんなの前で発表してください」と宿題を出します。翌日、みんなの前で発表する二人の顔は輝いていました。…両親の深い愛情に気づいた、よりか。…ブラジルに移住した祖父を誇りに思う、平吉。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|----|--|------|-----|-----------|-------|
| 25 | 少女 ヘジャル | 119分 | VHS | 吹替 | イコーラム |
| | 一線を退き孤独な生活を送るドイツ人の元判事とケルト人の少女ヘジャルが、ある事件を通して一緒に暮らすことになるのだが……。民族的な対立を背景に人々の間に生まれる交流を描いた珠玉の名作。 | | | | |
| 26 | ホームタウン 朴 英 美(パク・ヨンミ)のまち | 54分 | VHS | 字幕 | 人権啓発課 |
| | 大阪市生野区で生まれ育った在日韓国人3世「朴英美(パク・ヨンミ)」は、大阪市内の総合病院で働く新任看護師。主人公が学校や社会で経験するさまざまな葛藤を描きながら、本名を名のり、看護師として前向きに生きようとする姿を通して、名前や国籍の違いを認め合い、それぞれの生き方・考え方を大切にして相互に理解し合うことの必要性を学びます。 | | | | |
| 27 | ひろがれ チャンゴの響き -在日外国人の人権を考える- | 38分 | DVD | 字幕 | 人権啓発課 |
| | (2007年作品) 兵庫・東はりまマダンの活動を通して、在日外国人と地域の人々の温かい交流が、チャンゴの響きと共に国境を越え、広がっていく。在日外国人、とりわけ在日コリアンを中心に取材したドキュメンタリー映像です | | | | |
| 28 | サラーマット ～あなたの言葉で～ | 36分 | DVD | 字幕 副音声 | 人権啓発課 |
| | (2019年作品) 珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方もつミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることを学んでいきます。「SNS時代における外国人の人権」をテーマに捉えたドラマです。 | | | | |